

10 買い換え(交換)のめやす

ヒットエアーを何のトラブルもなく正常に使用された場合でも、以下の様な状態が発生した場合は、新しく買い換えるか取扱店にご相談下さい。

1. 生地部分がこすれたり、ほつれたりしてきた場合。
又、それによって内部気室(ポリウレタンフィルム/白色)が見えてきた場合。
2. キーボックス部分やカートリッジポンベにヒビ、サビが発生した場合。
3. 伸縮ワイヤー、ワイヤーループが擦れなどによって、ほつれが出た場合。
4. 各素材が著しく変色、変化が生じた場合。

11 アフターサービスについて

〈修理を依頼される場合〉

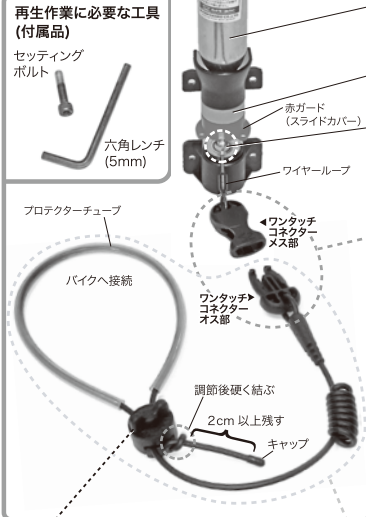
- お買い上げの取扱店まで保証書を添えて、商品をご持参下さい。
修理により商品の機能が維持できる場合に、ご希望により有料で修理させていただきます。
取扱店にお依頼にならない場合には、直接、当方へお問い合わせ下さい。

〈メンテナンスチェックをご希望の場合〉

- メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらずとも、その中に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確認する作業です。
- ヒットエアー付ジャケットが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)を受けて下さい。

お問い合わせ先：無限電光株式会社
TEL: 052-807-7750 E-mail: mugen@hit-air.com

はじめに ヒットエアーに装備されたアクセサリ



再生作業に必要な工具(付属品)
セッティングボルト
六角レンチ(5mm)
赤ガード(スライドカバー)
ワイヤーループ

ワンタッチコネクター
ワンタッチコネクターメス部
ワンタッチコネクターオス部
調整後硬く結ぶ
2cm以上残す
キャップ

プロテクターチューブ
バイクへ接続

CO² カートリッジポンベ (P13参照)
キーボックスが作動するとポンベからCO²ガスがエアバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。

キーボックス (P12参照)
エアバッグの基盤部(作動装置)


キーボール (P13参照)
キーボールが抜けるとエアバッグが作動します。キーリングはキーボールをキーボックスに固定するパーツです。

ワンタッチリリース(コネクター) (P20参照)
乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接続して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)

伸縮ワイヤー (P21参照)
強度に優れたケブラー糸を使用したワイヤーにウレタン樹脂で表面をコーティングしています。

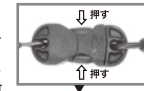
ループセッター (P21参照)
伸縮ワイヤーをバイクに取付ける際に固定するネジ
伸縮ワイヤーをバイクに取付け、長さ調節をした後でループセッター下部の溝にワイヤーを固定し、蝶ネジを締めます。

プロテクターチューブ (P21参照)
バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー
伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレーム、ハンドルなどの巻きつけ箇所形状に応じ、適度な長さで切断して下さい。




乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接続して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接続して下さい




乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接続して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接続して下さい




乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接続して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接続して下さい



乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接続して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接続して下さい



乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接続して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
(YKKと共同開発したバックル型)

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接続して下さい

31

9

4

62

- 注意 16. キーボールに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常(ほつれ、さび、擦れ、切れ等)を確認された場合は、部品交換して下さい。
- 注意 15. ウェアに取付けられたエアバッグの洗浄、クリーニングはできません。
- 注意 14. ウェアに取付けられたエアバッグのみの単体での使用はできません。(衝撃緩和)
- 注意 13. ウェアに取付けられたエアバッグの洗浄は自己の責任において行ってください。
- 注意 12. バイクに取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けられているか、各自チェックして下さい。不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。
- 注意 11. ウェアに取付けられたエアバッグに、針を通したり、エンブレム等の縫付けやアロンの使用はおやめ下さい。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。エンブレム等の取付可能な位置は取扱店にお尋ね下さい。
- 注意 10. 保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊り下げて保管して下さい。又、持ち運びや移動する際も同様です。保管場所は、高温多湿の場所は避けて下さい。
- 注意 9. ウェアに取付けられたエアバッグが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)を受けて下さい。



12. キーボックスカバーを開ける
(写真12)
ワンタッチコネクターメス部をキーボックスの穴から出し、キーボックスのカバーを開け、キーボックスの穴から取り出して下さい。



11. 未使用の適合カートリッジポンベを取付けます(写真11)
未使用のカートリッジポンベを、キーボックスの取付けネジ部分に根元までねじ込んで下さい。異常が感じられる場合は取扱店にご相談下さい。
カートリッジポンベのねじ込みが浅いと、エアバッグ作動の際に膨らみが弱くなるなどの誤作動の原因になります。
注意
締め方向に示すように、キーボックスの向きを正確に取付けます。

注意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。